



きくよう

2019.10
No.101

菊陽町議会フェイスブック
左記のQRコードを読み取る
とアクセスできます。



菊陽町議会



◎表紙

平成30年度決算	P2~3
臨時会と9月定例会、賛否表	P4~5
常任委員会報告	P6~7
Tea Time ~ちょっとひといき~	P8
一般質問	P9~12
研修報告	P13~15

主な内容

平成30年度決算を認定

財政運営は適正に運営されている。

令和元年第3回菊陽町議会定例会が9月3日から同月17日まで開催され、平成30年度決算を認定した。

一般会計

一般会計決算の状況は、歳入総額177億4980.1万円、歳出総額166億3438.9万円で、差引残高11億1541.2万円。このうち5億4434.6万円が翌年度に繰り越すべき財源となるため、実質収支額**5億7106.6万円の黒字**となっている。

一般会計歳入

一般会計の歳入構成は以下の通り。

自主財源 (64.28%)			依存財源 (35.72%)		
款	収入済額(円)	割合(%)	款	収入済額(円)	割合(%)
町税	7,010,863,799	39.50	地方譲与税	199,887,000	1.13
分担金及び負担金	323,140,150	1.82	地方消費税交付金	788,686,000	4.44
使用料及び手数料	166,884,296	0.94	地方特例交付金	36,762,000	0.21
財産収入	401,925,395	2.26	地方交付税	167,060,000	0.94
寄附金	13,441,750	0.08	国庫支出金	2,397,389,066	13.51
繰入金	2,110,695,866	11.89	県支出金	1,246,082,808	7.02
繰越金	1,246,743,850	7.02	町債	1,414,200,000	7.97
諸収入	135,601,189	0.76	その他	90,437,779	0.50
計	11,409,296,295	64.28	計	6,340,504,653	35.72
合計	17,749,800,948 (100%)				

菊陽町と熊本県の自主財源・依存財源の比較

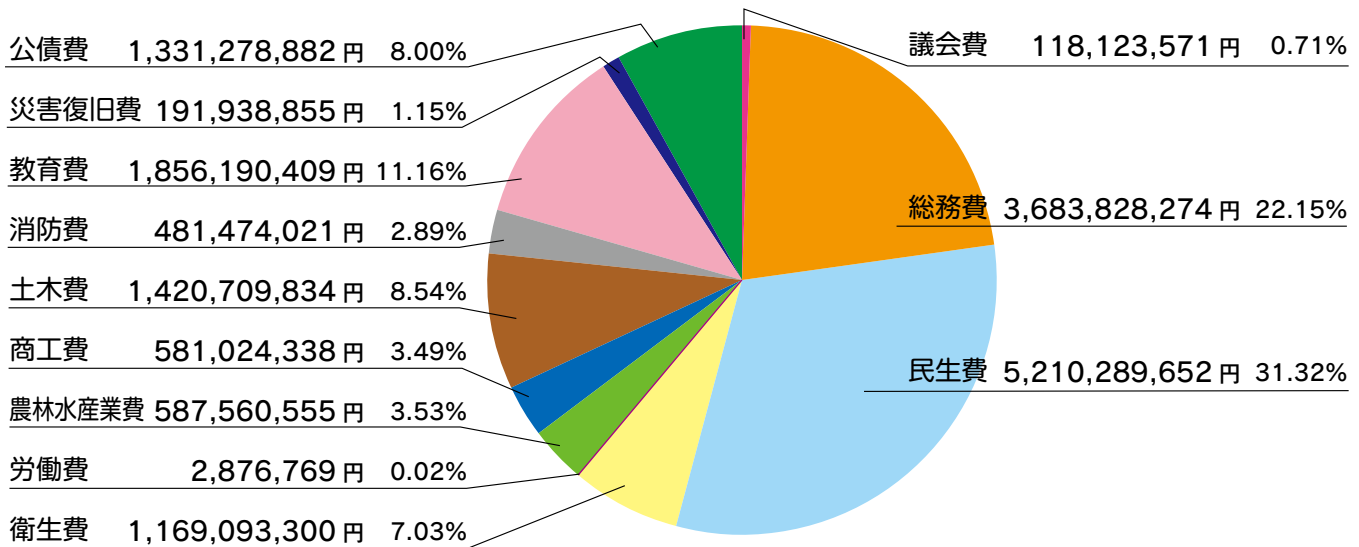
(単位：%)

	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
	全国	熊本県	菊陽町	全国	熊本県	菊陽町	全国	熊本県	菊陽町
自主財源	48.0	30.9	54.5	30.7	42.6	58.3	集計中	集計中	64.3
依存財源	52.0	69.1	45.5	69.3	57.4	41.7	集計中	集計中	35.7

上記の通り、菊陽町の自主財源比率は熊本県内市町村や全国平均と比べて高い状況にある。

一般会計歳出

一般会計歳出決算は、166億3438.9万円で、予算現額185億710.3万円に対し、執行率は89.88%となっている。また、支出済額は、前年度より6億6014.9万円増加している。



民生費（障がい者福祉、保育所、児童手当、国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療特別会計繰出金等）が31.32%。総務費（財政調整基金積立金等）が22.15%教育費（菊陽北小学校大規模改修工事事業等）が11.16%と高く、土木費、公債費との5項目で全歳出額の81.17%を占める。

主要財政指標の年度別推移

健全な財政運営の要件は、収支の均衡を保持しながら経済的変動や町民要望に対応しうる弾力性を持つものでなければならない。普通会計における財政力の動向、財政構造の弾力性を判断する主要財政指標の年度別推移は下記表のとおり。

	財政力指数	経常収支比率(%)	公債費負担比率(%)	標準財政規模(千円)
平成26年度	0.93	81.7	13.1	8,160,076
平成27年度	0.92	83.1	16.1	8,258,992
平成28年度	0.92	85.4	12.5	8,380,903
平成29年度	0.93	83.9	13.3	8,412,394
平成30年度	0.96	93.1	11.1	8,614,482

主要指数の説明

- 財政力指数** 財政力の強弱を示す指標。数値が1に近いほど財源に余裕があるとされている。
- 経常収支比率** 財政の弾力性は経常収支比率により判断される。この率が低ければ低いほど財政の弾力性は大きく、財政構造が優れているといえる。平成29年度決算における類似団体の平均値は90.7%。
- 公債費負担比率** 公債費がどの程度一般財源の用途になっているかを示す指標。一般的には15%以内の範囲にあることが望ましいとされる。
- 標準財政規模** 地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう一般財源の規模を示すもの。ここ数年は増加傾向にある。
- 菊陽町監査委員の意見** 財政構造、財政指数については、多少数値に増減あるが、過去の数値推移から問題はない。

(大久保 輝議員)

議案審査

第4回臨時議会 7月29日

議案第31号

工事請負契約の締結

《内容》

北小学校体育館大規模改造工事受注請負契約締結

《質疑》

布田悟議員
シャワー室とウォシュ

レットの設備はあるか。

施設整備課長 ウオシュ

議案第32号

工事請負契約の締結

《内容》

北小学校第3期大規模改造工事

《質疑》

布田悟議員
こちらウォオシュレット

仕様か。

施設整備課長 こちらも

ウォオシュレット仕様だと

記憶している。

議案第33号

工事請負契約の締結

《内容》

武蔵ヶ丘中学校給食室の増築・改修工事

《質疑》

西本友春議員
前室は着替える場所か。

施設整備課長 材料の調査、検査など食品庫に入れる前の処理室です。

*3議案とも全員賛成で可決。但し阪本俊浩議員は欠席

第3回定例議会 9月3日～17日

議案第35号

菊陽町印鑑条例の一部を改正する条例の制定

《内容》

印鑑登録証明書に旧氏の記載を可能にする。

議案第36号

菊陽町会計年度任用職員

の給与及び費用弁償に関する条例の制定

《内容》

会計年度任用職員の創設に伴い、会計年度職員の給与及び費用弁償等に関する必要な事項を定める。

議案第37号

地方公務員法及び地方自治

法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備

《内容》

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備

に関する条例の制定

《内容》

会計年度任用職員の創設等に係る関係条例の整備を行う必要がある。

議案第38号

職員勤務時間、休暇等

に関する条例の一部を改正する条例の制定

《内容》

働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律の施行等により一部の条例を改正する。

議案第39号

菊陽町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する

条例の一部を改正する条例の制定

《内容》

子ども・子育て拠出金支援法の一部を改正する法律が施行されたことに伴う条例の文言を整理する。

議案第40号

菊陽町消防団員の定員、

任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定

《内容》

成年後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等

議案第41号

消費税及び地方消費税の

税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

《内容》

消費税及び地方消費税が引き上げられることを考慮し、関係条例における使用料等の消費税相当額を改正する。

議案第42号

菊陽町長等の給料の特例

に関する条例の一部を改正する条例の制定

《内容》

町長及び副町長の給与を減額する。

をを図るための関係法律の整備に合わせて改正する。

議案第43号

令和元年度菊陽町一般会

計補正予算(第2号)

《内容》

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ六億五

四三万五千円を追加し、

総額をそれぞれ一五七億

五五二万七千円とする。

議案第44号

令和元年度菊陽町土地取

得特別会計補正予算(第

2号)

《内容》

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ一億四九

三九万四千円を追加し、

総額をそれぞれ三七億二

八八九万四千円とする。

議案第45号

令和元年度菊陽町工業団

地造成事業特別会計補正

予算(第1号)について

《内容》

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ四七〇六

万四千円を追加し総額を

それぞれ二億九二二七万二

千円とする。

議案第46号

令和元年度菊陽町国民健

康保険特別会計補正予算

(第1号)について

《内容》

歳入歳出予算の総額に、

歳入歳出それぞれ四七〇六

万四千円を追加し総額を

それぞれ二億七四九一万

二千円とする。

議案第47号

令和元年度菊陽町後期高

齢者医療特別会計補正予

算(第1号)について

《内容》

歳入歳出予算の総額に歳入

歳出それぞれ一億四九

三九万四千円を追加し、

総額をそれぞれ三七億二

八八九万四千円とする。

円を追加し、総額をそれ

ぞれ三億八八九万四千

議案第48号

令和元年度菊陽町介護保

険特別会計補正予算(第

2号)

《内容》

歳入歳出予算の総額に歳

入歳出それぞれ九二六三

万九千円を追加し総額を

それぞれ二五億九九三一

万八千円とする。

議案第49号

令和元年度菊陽町下水道

事業会計補正予算(第1

号)について

《内容》

事業収益を一三億五七一

〇六千円に補正し、事業

費用は一三億二九九万四

千円に補正する。

議案第50号

町道路線の認定について

《内容》

24路線を認定する。

議案第51号

町道路線の変更について

《内容》

1路線の終点位置を変更

報告第5号
有限会社さんふれあの経営状況について

《内容》
地方自治法の規定により経営状況を報告する。

追加議案

議案第52号
財産の取得について

《内容》
武蔵ヶ丘中学校給食室厨房備品購入

議案第53号
都市公園を設置すべき区域について

《内容》
規定に基づき、都市公園を設置すべき区域を定める。

同意第4号
菊陽町教育委員会委員の任命について

《内容》
菊陽町教育委員会委員に天野智子氏を任命する事に同意を求める。



令和元年第3回菊陽町議会定例会

付議事件 ■賛否表 ○は賛成 ●は反対 欠は欠席

議案番号等	結果	表決数		廣瀬	矢野	大久保	阪本俊	西本	那須	佐々木	中岡	布田	福島	坂本秀	渡辺	佐藤	甲斐	岩下	小林	北山	
		賛成	反対																		
認定第1号	認定	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	
認定第2号	認定	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	認定	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	認定	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
認定第5号	認定	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
認定第6号	認定	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第34号	可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	可決	16	0	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	可決	15	1	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第37号	可決	15	1	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第38号	可決	15	1	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第39号	可決	16	0	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	可決	16	0	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	可決	14	2	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第42号から第49号	可決	16	0	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	可決	15	1	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第51号	可決	16	0	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第4号	可決	12	5	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第5号	可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

付議事件(追加)

議案第52号	可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第4号	同意	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

結果は可決・同意

発議第4号 布田悟議員
本格的な憲法改正論議を国会に求める意見書

提案理由

憲法の施行より70年以上が経ち、国民の意識や憲法を取り巻く環境は大きく変化を続け国民的関心が高まる中、我が国を取り巻く新たな諸問題に対応していくため、憲法改正に向け本格的な議論が行われるよう要望いたします。

《質疑》 北山正樹議員
他の報道機関は調べているか。

《応答》 布田 悟議員
他の報道機関は調べていない。

《討論》

《反対》 小林久美子議員
国民の多数が改憲を求めている下では必要ない。

《賛成》 甲斐栄治議員
今、国民が望んでいるのは経済問題と社会保障である。

北山正樹議員

発議する前に、町議会の中で、議論するべきだった。

《賛成》 岩下和高議員
この憲法は現在の日本国にあつていない。

坂本秀則議員

自衛隊を憲法に明記、その存在を内外に知らしめるべき。

渡邊裕之議員

《採決》 賛成多数で可決

発議第5号 西本友春議員
高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書

提案理由

東京・池袋で87歳の高齢者が運転する車が暴走し、母子2人が亡くなった事故以降も高齢運転者による事故が続いている。いまや高齢運転者の安全対策及び安全運転支援の取り組みは待ったなしの課題であり、地域における移動手段の確保も重要な取り組みである。

《採決》 全員賛成で可決

(矢野厚子議員)

常任委員会報告

総務常任委員会

西本友春委員長

人権教育・啓発課

小学校における学習会の回数は約300回で、単価は講師（先生）に対し1回、2,200円となっている。その他に、同和問題はもとより、人権に関する様々な課題（いじめ、女性差別、障がい者、LGBTなど）に対して、職員研修及び議員研修等を行い、意識を変えていく事が大切との皆さんの意見もあります。

財政課

事故繰越は、今回は熊本地震関連事業であったため、事業が完了しなかったもので、今回が初めてのケースで通常はあり得ない。

アスベストの検査については、庁舎内にアスベストが吹き付けられた天井があり、通常は飛散するものではないが、毎年、空気中の濃度検査を行っているために、除去しない限り今後も検査は続く。

総合政策課

現在の巡回バス委託料が約2,885万円となっている事から、今回の公共交通体系の見直しでは、現在の経費を目安として実施する予定だが詳細な算出はまだできていない。



空家の現地視察

文教厚生常任委員会

佐々木理美子委員長

○認定第一号平成30年度一般会計歳入歳出決算の認定
○認定第四号平成30年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定

○認定第五号平成30年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定

○認定第六号平成30年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定

全て、全員賛成で認定すべきものと決した

学務課

給食調理委託料は、菊陽西小学校の給食室改修時のデリバリー給食を提供するためにかけた費用の内、保護者負担の差額である。

生涯学習課

菊陽町体育協会補助金は町体育協会に交付され、総合型地域スポーツクラブ育成事業はNPO法人スポーツクラブきくように交付されている。

町民課

マイナンバーカードの発行状況は、7月末で4,640件。来年2月3日からコンビニで住民票、戸籍、税務関係の交付が始まるので、交付率も伸びるのではないかと期待される。

子育て支援課

民営化した保育所の建物売り払いの対象額と金額の内訳は、白菊園13,572,500円、白鈴園11,247,500円、さくら園は18,372,500円である。病後児保育「こあら」「ゆー

産業建設常任委員会

福島知雄委員長

産業建設常任委員会に付託された案件を一件ずつ慎重に審議いたしました。

認定第一号は「認定すべきもの」と決定しました。認定第三号は「認定すべきもの」と決定しました。認定第二四号は「認定すべきもの」と決定しました。

認定第三四号は「認定すべきもの」と決定しました。

【農政課】

質問 林業振興費、委託料、負担金を毎年払い続けると、木の売却では採算が取れない。この件は他市町村との関係で進めるのは理解しているが、過年度分を含めると大きいため、今後の方針を明確にし、説明できるようにすべきである。

答弁 委託内容は、町有林を瀬田裏に約3.4ha及び岳河原に約3ha所有し、下草刈りの管理、作業道路の維持管理、防火線払いも行っている。

議員より提案 町工事に町有林の木材を利用すべきである。

【商工振興課】

質問 杉並木沿線下草刈りの委託はどこにしたのか。

答弁 例年シルバー人材センターに委託している。

質問 商工会への補助金はいつから上げるのか。

答弁 今年度から170万円増額し、950万円補助をする予定である。これは、経営指導委員に係る人件費に充当される予定である。

質問 建築組合に4万5千円の補助をしているが理由は何か。

平成29年度からの繰越事業で、菊陽町において今後増えていくであろう空家等について、その発生を抑制し、空家等の適正管理と活用等を盛り込んだ「菊陽町空家等対策計画」策定を委託した。

税務課
熊本地震による住宅取り壊し後の土地については、法改正により令和2年度まで引続き軽減が適用される場合があるのと、納屋を取り壊した場合、駐車場として利用していたりすると高くなる可能性もあるが、更地で何も管理していない状況であれば、雑種地の中でも一番低い評価となり、固定資産税は安くなる。

総務課
町全体の職員数定数は、250人だが平成30年度の正規職員は227人、臨時職員は136人、非常勤職員は214人。今年度の正規職員は236人で、次年度採用数については、今年度の退職者数や各課等の業務量等の関係があるので、現時点で採用人数は、確定していないが増員する方向で募集を考えている。

土地取得特別会計
防災広場2haのうち、元々町所有だったものを除く約1.8ha分について、今回、土地取得特別会計に約11億4千万円支払い、一般会計へ買い戻した。しかし、土地取得特別会計に町債は残っていないので、その金額を一般会計へ繰り入れたもの。



(仮称) 光の森多目的広場の防災備蓄棟

かり」の利用状況は、475人。

健康保険課
運動指導委託料とは、3つの年齢別のコースを対象に健康増進コースを開催している。回数に応じて、健康ポイントを交付している。子ども医療費が本年1月から無料になったが、受診件数は横ばいである。

国民健康特別会計
人間ドックの補助金と利用率は、30歳以上の国民健康被保険者487人で約8%。補助金はどのコースでも25,000円。特定検診受診率の目標は60%だが達成できていない。

視察
・ラビット保育園
・放課後学童施設「にじいろ」
・武蔵ヶ丘北小学校 電子黒板を活用した算数、英語の授業
・武蔵ヶ丘北小学校の通学路を視察しました。



ラビット保育園の保育の様子



武蔵ヶ丘北小学校の通学路視察

電子黒板を活用した授業の様子（3年生）

答弁 すぎなみフェスタ、鼻ぐり井手祭で、子供向けブースの出店を行うなど、地域貢献をして頂いているからである。

【下水道課】
質問 下水道施設の老朽調査はどのようにしているか。

答弁 管路は、ストックマネジメント計画の中で布設年度をエリア分けし、古いエリアから順次テレビカメラを用い、状況調査している。

質問 下水道使用料の料金改定の検討状況は。

答弁 本年度中に10カ年の経営戦略を策定する。また、収支計画も策定し、内容を検討して判断する。

【農業集落排水事業】

質問 農業集落排水事業は今後いつまで続き、国からの補助金はあるのか。

答弁 既存集落の管整備は終わっている。開発等により必要に応じ設計委託・工事を行う事になる。国の補助金はない。

【環境生活課】

質問 水洗化されていない地域があるがなぜか。

答弁 土地の形状等で下水道管との接続ができない地域があるからである。

【都市計画課】

質問 第二土地区画整理事業の完了予定は。

答弁 令和3年度を予定している。

【建設課】

質問 橋梁点検の結果、架け替えを要する橋梁はあるか。

答弁 架け替え及び大規模な改修を必要とする橋梁はない。



延伸予定の菊陽空港線



今回は、菊陽町小・中学校でALTとして、英語を教えている二人の青年教師を紹介します。



メイソン・バスカーク(24才)
アメリカ出身



コナー・ギルソン(30才)
アメリカ出身



メッセージ

武蔵ヶ丘中学校 中尾 幸治 校長先生から
現在、町内の各小中学校においてALTが参加している英語科の授業及び英語活動が行われています。子どもたちは、いわゆる日本人の「先生」とだけ授業をつくることに加え、ALTが授業へ参画することで、さまざまな豊かな学びを享受していると考えています。

メッセージ

菊陽中学校 安武 卓明 校長先生から
勤務態度もまじめだし、遅刻もない。職員室では周りの教師と片言の英語と日本語で会話して、教師たちとのふれあいにも申し分がない。生徒たちも「はい!」とかいって、溶け込んでいってるようで安心している。今後の子どもたちへの貢献を期待したい。

ALTとは?

外国語指導助手 (Assistant Language Teacher) のこと。小中高校などの英語の授業で、生きた英語、発音を生徒児童に伝え、もって英語教育の質の向上に寄与する。

(北山正樹議員・佐々木理美子議員)

- ・一般質問は、政策に取り組むべき議員にとって、もっとも意義ある場です。趣旨は、町執行部の考えを「問い質す」ものですから、町政策に関することであれば、質問に制限はありません。本町は「一問一答」方式を採用しており、質問を二度、三度と重ねることで、より深い答弁を引き出すことが可能です。持ち時間は町執行部からの答弁も含めて60分です。
- ・文責は原稿執筆者にあります。特に一般質問の場合は、質問者に文責があります。広報委員会は、内容や漢字の間違いなどは、修正しますが、文体など基本的に原稿執筆者の意向を優先します。
- ・本委員会では今期から、記事の担当者の名前を、最後に掲載する方針としました。これは、新聞などでも多く取られているものです。記事執筆者にほどよい緊張感と、思索をより深めた内容を、町民の皆様を紹介するためです。
- ・広域行政組合に派遣されている議員の活動も掲載します。菊陽議会以外での活動にもご注目ください。今回は「菊池環境組合」で新清掃工場建設の現地からの報告です。

(広報委員会)



坂本 秀則 議員

原水工業団地周辺の発展と交通渋滞緩和に向けて
坂本 町道里道等の変更及び畑灌施設についての説明会並び意見交換会を適時に開催するのかが。 **経済部長** 里道変更は関係者に説明した上で進める。畑灌施設は用地代移設補償額の提示を受け土地改良と説明会を開催する。

坂本 原水工業団地周辺の交通渋滞に対して多面的なインフラ整備が必要ではないか。
建設課長 菊陽空港線延伸の進捗を見ながら杉並木公園線延伸の検討に入り渋滞緩和に取り組む。

商工振興課長 セミコン交通対策協議会に通勤バス続行便等の提案をする。

原水駅三里木駅周辺の地域振興と発展に向けて
坂本 原水駅周辺及び三里木北側を市街化区域に移行できないか
都市計画課長 原水駅周辺まちづくり基本調査をもとに原水駅周辺は市街化編入に向けて進める。

答 農地水事業総会で承認を得れば可能である
農地水事業で新町井手整備だけの新設支部を設けられないか

町長 三里木北側は環境整備職員体制を考え関係機関と協議を進めていく。
坂本 原水、三里木駅周辺活性化と将来像を語り合う協議会を設置できないか。
総合政策課長 状況に応じて臨機応変に協議会設置も含め進めていく。

坂本 北小学校、西小学校は新校舎建設並び用地の確保を直ちに行うべきではないか。
施設整備課長 北小学校は来年度増築に向けて検討に入る必要がある。西小学校は住宅関係等の動向を注視し計画的な対応に向けていく。

原水、新町地区、農地整備事業の早期着工に向けて
坂本 地権者と行政で構成する基盤整備推進協議会を設立すべきではないか。
農政課長 地権者の、ある程度の合意形成を整えれば協議会等の設置を考える。今年度中には地元の方と事業の実施に向けた方向性を考える必要がある。

白水、久保田地区の発展と活性化に向けて
坂本 白水、久保田地区の発展と活性化のため通学、通勤者が公共交通機関まで乗合タクシーを利用できるように配慮できないか。
総合政策課長 通学、通勤のニーズも含め町民の意見要望について試験運行実施期間中にきちんと検証し公共交通としての利便性と効率性を検討した上で本格運行に移行する。

通学路の安全確保の対応は早急に出来ないか
坂本 旧国道57号の南方地区内歩道及び路側帯沿の大小雑木から害虫や枝で通学者等に支障が起きているが、枝伐採防除等の対策は早急にとれないか。
建設課長 伐採及び剪定を実施すると県から何っている。県に対して早急に対応するように要望する。



中岡 敏博 議員

通学路交通安全 プログラムの取組とは

答 P D C Aサイクルで関係機関が連携協力し
合同点検、改善、充実をおこなう

本年度の合同点検は

教育部長 通学路の新たな危険箇所に対して7月8～10の3日間で関係者と27か所の一斉合同点検を実施した。

中岡 P D C Aサイクルという危険箇所の抽出のソース、情報元の根拠は、

教育部長 保護者からや地域の皆さんからの聞き取り、学校からである。

中岡 専門性に欠ける。横断歩道の代わりに道路を緑に塗装している所がある。

総務課長 歩行者横断指導線である。

中岡 その通りであり、横断歩道の代わりに白の平行線であるが正しい。

では、スクールパトロール隊（青パト）に声をかけたのか。

教育部長 今回は話をしていない。今後改善が必要であれば、検討していく。

中岡 せっかくの機会でもったいないと感じる。

交通安全対策で推進している取組とは

中岡 カラーベルト事業、ゾーン30について関東を中心に本町と類似地区を調査研究し提言してきたが、どう考えるか。

総務課長 歩道がない道路、通学路等で必要な所に設置する。緑色を基本に整備をしている。ゾーン30は、内閣府の交通安全全白書で効果を確認した。今後、他の自治体を参考に研究していく。

中岡 カラーベルト事業、ゾーン30について関東を中心に本町と類似地区を調査研究し提言してきたが、どう考えるか。

教育部長 登下校時以外は閉鎖し管理している。訓練はスクールサポーターから指導を受けている。

中岡 正常性バイアスに陥っていないのか。

教育長 関係者にとつて衝撃的な事件が相次いだ。今後、見直し点検や訓練を実施する大切さを実感している。

子ども議会の開催は

教育長 将来を担う子どもたちが関心を持ち、主権者として、教育的にも有意義と考え開催に向け学校と協議し取り組む。

その他の質問事項

○飲酒運転撲滅、あおり運転についての取組は。

○高齢者に関する事故に対しての考え、取組は。

○高年齢者に関する事故に対しての考え、取組は。

○高年齢者に関する事故に対しての考え、取組は。



ゾーン30



カラーベルト



廣瀬 英二 議員

光の森駅と立体駐車場を結ぶ 自由通路建設について

答 大事な事業として早期の実現を目指して取り組む

自由通路建設について

廣瀬 光の森駅で三日間、調査をしたが朝通勤通学時間帯の七時～八時の横断歩道の利用者は約五〇〇人、横断歩道を横切る車は約四〇〇台で歩行者と車の交錯で、ひどい混雑であり、周辺道路の渋滞を招いている。歩行者の安全と駅利用者の利便性の向上そして渋滞緩和の面からも早期の実現が必要と考えるがどうか。

町長 光の森駅周辺の安全な通行や駅利用者の利便性の向上及び交通渋滞の緩和のためにもぜひ整備する必要があると認識しており、「活力にあふれ」「にぎわう町づくり」の大きな事業として早期の実現を目指して取り組んでいきたい。

新駅設置について

廣瀬 新駅予定地の図書館付近は、周辺五〇〇メートル圏内に図書館、さんふれあ等、南側には商業施設、大型マンションが集積、周辺の開発も進んでいる。総合体育館建設も具体化する中、条件は整いつつある。道路整備に時間を要する状況で、道路渋滞、高齢化対策として早期の新駅設置が必要と考えるがどうか。

町長 J Rとの協議の経緯はあるが、今の時点で杉並木陸橋も歩道もあるので協議の中に入れたらと思う。条件が整ってきたので、三里木駅から空港への鉄道の延伸、そういう中で、駅が出来れば、豊肥本線は単線なので離合駅として使えば便数も増えるの思いついても協議をし、できるだけ早期に実現するよう取り組んでいきたい。

鉄砲小路踏切の拡張について

廣瀬 三日間の調査では、朝の七時～八時の踏切横断の車は約三〇〇台、自転車及び歩行者は約七〇名、それと、踏切降下が五分に一回は閉まる状況である。幅員がせまいため、危険な踏切となつて

いる。また、旧五七号線の車の交通量（県警調査）で上り四二九台、下り六八四台で踏切の右折左折の車で渋滞する。歩行者の安全と渋滞緩和のため、踏切拡張が必要。地域からの要望書提出から丸三年経過、早急な改善をお願いしたい。

建設課長 先月J Rと二回目の協議を行った。当該踏切を拡幅し、東側に歩道を整備し、歩行者の安全性を考えている。J Rや関係機関との協議の進捗具合にもよるが、一日も早い実現に向けて努力していきたい。

防炎行政無線の設置計画について（北新区）

廣瀬 設置場所はどこか。また、工事はいつから始めるのか。

総務課長 北公園を進めている。年度内には工事を終了したい。

を完了したい。



甲斐 榮治 議員

JR三里木駅分岐・菊陽空港線延伸の最新情報は

答 独立行政法人に調査委託・予備設計を開始

数十年先の町を左右する

甲斐 JRの三里木駅分岐と菊陽空港線の延伸は将来の菊陽町の発展を左右する事業と思うが、執行部の位置づけは。

総合政策課長 前者は、拡大する人の流れと経済効果をとりにこみ、地域を活性化する事業である。

建設課長 後者は、中九州高規格道路に繋がり、産業を支える物流の最重要路線である。

甲斐 空港の周辺自治体のみならず、県・国・東アジアをも見渡す視点が必要である。

県から新たな情報を得たか。県との意思疎通のチャンネルはあるか。

総合政策課長 県は独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構に調査を委託した。県、同機構、JR九州による協議がお



菊陽空港線馬場踏切付近

こなわれている。

町総合政策課と県の空港アクセス整備推進室とは定期的に連絡をとりあっている。

建設課長 菊陽空港線延伸事業の県施工区間については予備設計業務を発注した。町も予備設計に入る。相互に連絡をとりつつ、早期着工をめざす。

町長 現段階では所管部署が分かれているし、県の方針も明らかでない。時機が来れば動くが、待つべき

横断的組織が必要では

時には待たねばならない。

甲斐 周辺自治体の動きはどうか。

町長 菊陽町・益城町・西原村・大津町では、協議会的な連携組織を作って取り組む話し合いをしている。

甲斐 情勢が進めば、情報集約・分析・課題解決の組織が必要になると考えるが、どうか。

総合政策課長 事業の詳細が分かってくれば、議会や町民の方々にも知らせ、意見も聞きながら具體的取り組みを進める。

*この他、総合体育館、(仮称)光の森多目的グラウンドの1haの残地の活用、町公共交通のあり方について等の質問を実施した。



小林 久美子 議員

保育所・副食費への町の補助ができないか

答 現段階では、補助は考えていない

小林 十月から保育料が無償になるが、昼食などの副食費は、払わなければならない。この無償化により、町が今まで保育料に補助をしていた財源が減ると思うが、幾らになるのか。

保育士の負担が増大する

小林 国が、副食費を実費徴収にしたことは問題である。また、副食費の滞納が保育所の運営を直撃することになり、私立の場合徴収により保育士の負担が増えることになる。町長の見解は。

年間 7百万円

子育て支援課長 保護者の経済的負担軽減のため町が負担した額と、無償化による町負担額の差額は、年間七百万円である。

県内でも実施している副食費の補助を

小林 給食の副食費へ町の補助ができないか。県内でも、宇城市や芦北町など補助を始めている。

補助は考えていない
子育て支援課長 国は、

副食費については、無償化の対象から外している。現段階では、町負担は考えていない。

副食費については、いままでも求めてきたが、副食費の無償化についても引き続き提案していきたい。

体育館に空調の設置を

小林 現在の猛暑の中で、小・中学校の体育館に空調設置が必要ではないか。また、体育館は、災害時の避難所としても使用するのでは是非ともつけていただきたい。

空調設置は必要

施設整備課長 本町では、平成二六年度までにすべての普通教室及び特別教室に空調設備を整備している。体育館に空調設備の整備は必要だと考えている。現在菊陽中学校体育館の空調設備設計業務を委託しているところである。

待機児童の解消を急ぐ
町長 保育料の保護者負担がなくなっていく中で、町が一番とりくまないといけないのは、待機児童の解消である。

待機児童の解消とともに副食費の無償化も

小林 待機児童の解消に



佐々木理美子 議員

菊陽町図書館北東の道路の延伸計画は

答 現在、菊陽空港線延伸事業を進めている。その進捗をみながら、検討する。

佐々木 10月から幼児教育、保育の無償化の告知は広報きくようの掲載だけでなく、チラシ等の方法は無いのか。

福祉生活部長 住民への周知活動については、町ホームページ、広報きくよう9月号では制度の内容を掲載し、幼児教育、保育の無償化について、詳しいパンフレットの作成の予定がある。

佐々木 幼児教育、保育の無償化が始まると、保育士不足が考えられる。何らかの対策はないのか。

町長 保育士の確保は非常に大事な事である。しかし、自治体間の獲得競争に拍車をかけるような事は、慎重にならなければいけない。そういう面も踏まえて、十分協議していく。

佐々木 運転免許返納者への補助(手数料1100

4月からの保育園待機児童数

	平成31年4月1日	令和元年9月1日
0歳児	1人	3人
1歳児	12人	7人
2歳児	8人	8人
3歳児	6人	3人
4歳児	2人	1人
5歳児	1人	0
計	33人	22人

0円、タクシー券3万円分)の交付はいつからか。

総務部長 この支援事業の施行日を本年10月1日からとし、広報きくよう10月号に掲載する。

佐々木 今まででも運転免許を返納された方もいる。どこまでさかのぼって補助するのか。

総務部長 本年度の事業なので、本年4月1日以降に返納された方が対象で、理解していただきたい。

佐々木 原水駅東側の踏切の拡張工事の計画の方向性は。

土木部長 町で通学児童を含む歩行者の安心を図るために、歩道を整備し歩行者と車道を分離する計画である。今後JR及び警察など、関係機関と協議をすすめる。

佐々木 原水駅西側の踏切についてわかっていることはあるのか

土木部長

今後、県が予備設計事業の中でJRと進めていく町としては地元からの意向を踏まえ踏切改良について要望していく。



西本 友春 議員

消防団車両へのドライブレコーダー搭載を提案

答 消防団と協議をして進める

きくよう健康倶楽部

西本 「さんふれあ」以外の協賛店でポイント利用可能な検討結果は。

農政課長 来年4月からの商品券利用を目指し、協賛店全てで実施できるよう、関係課と協議を進めている。

会員数推移

年・月	人数	
H30.3	662	
H30.8	1,062	
H31.3	1,375	
R 1.7	1,673	
内訳	男性	610
	女性	1,063

自転車保険加入促進

西本 中学生が補償対象となる保険加入に係る助成を提案するがどのように考えているのか

総務課長 今のところ保険料やT.Sマーク取得に対する補助は検討していない。他市町村の動向等を見ていく。

西本 消防団車両へのド



ライブレコーダー搭載を提案するがどのように考えているのか

総務課長 消防団の積載車も公用車の一つでありますので、今後、消防団と十分協議して進めてまいります。

西本 消防団の情報収集活動としてドローンの必要性を提案するがどのように考えているのか

総務課長 菊池広域連合消防本部では、ドローンの導入も検討がなされているとのこと、そのあたりの状況も踏まえて、消防団としっかりと検討していく。

陽性率 18.4%

ピロリ菌検査への助成
西本 検査の実施状況はどのようになっていくのか

健康・保険課長 8月30日時点での申込者数が92名となっており、また検査実績の38名中7名が陽性となっています。

西本 今後の受診者数の向上と、10月以降の対策、取組をどのように考えているのか

健康・保険課長 町民への周知を積極的に行っていくとともに、次年度については、本年度の実績を踏まえ、実施期間を延ばして実施することが可能かどうか、医療機関と協議していく。

議会研修報告

常任委員長・議会運営委員長・正副議長

【日付】令和元年7月8日

【場所】プランメツセ熊本2階「コンベンションホール」

【演題】議会改革・活性化への取組

【講演内容】

1. 時代変化と共に議会も変化する必要があり、議員の資質向上も必要不可欠である。それを支える議会事務局の質的な充実も必要だ。そのため「議会と事務局に対する条例」策定等を検討すべきである。
2. 首長も議員も同じ地域選出の立場ではあるが、議会の権限は首長よりもずっと重くそれを踏まえた議員の意識改革が必要であり、それを反映した議員の議会活動の在り方が住民に期待されている。
3. 具体的には住民に「開かれた議会」にするための方策事例。



(布田悟議員)

- ① 議場のフリースペースとしての多目的利用（移動式で子供の学習の場に提供） 兵庫県太子町議会
- ② 長崎県議会の議会政策サポート制度
- ③ 東京都町田市議会の請願者プレゼンテーション

【所感】菊陽町議会を構成する議員・事務局にとり考えさせられる研修内容であった

菊池地域市町議会議員

【日付】令和元年8月2日

【場所】大津町オークス2階会議室

【講師】公益財団法人地方経済総合研究所

【演題】熊本地震と地域経済

1. 現状

熊本経済の多くを担ったのは、建設業と資材販売のほか、電子部品が続いたのみで、その他のほとんどの産業は停滞している。

阪神淡路、東日本各地震地での経済の流れは、復興期を過ぎた後、減少しているため、熊本経済は今後減速の可能性がある。

一方、幅広い分野で人手不足であるが、雇用者数の多くは非正規が占めている。中でも、小売業・宿泊飲食業も非正規率は70%余と高いため、マクロ的には賃金は増加しておらず、ほぼ横ばいが続いている。

県内消費者アンケートでは、消費税と地震の影響から、支出意欲は下がったままなので、2019年の消費増税による買い物への影響に、「影響あり」と答えていく。

2. 処方箋

SDGs（持続可能な開発目標）を導入して、現在足元にあつて注目されていない資源を発掘し、無駄を省きながら、代替利用できる物は積極的に利用していくべきことを強調された。

3. 所見

熊本経済の現状は、日本の現状にそのままなっている。景気が拡大しているのは一部の大企業で、雇用も非正規が多くを占めているのは、肌で感じてきたことと同じ



である。「経済は人口に比例する」ことは述べるまでもないことで、いかに人口流出を避け、地元資源を活かし切る工夫が、地方経済の今後を左右することになる。というこ

本町は近隣自治体からの購買客を迎えているので、本町を取り巻く広い他の自治体と共同して、SDGsを発掘する必要があると理解した。

(北山正樹議員)

町村議会正副議長

【日付】令和元年8月5日

【場所】熊本市町村自治会館2階会議室

【講師】曾根原久司 NPO法人えがおひろげ代表理事

【演題】熊本の田舎は宝の山

1. 講師の主張

農山魚村資産を都市のニーズと結べば、1500億円の産業と15,000人の雇用が生まれる。

2. 講師の実績

・耕作放棄された農地を「農村観光ツアー」として「開墾ボランティア」を募集して再生に成功。

・企業と連携し、社員の農作業体験から生まれた米で、日本酒「丸の内」を作るなどの取り組みをしてきた。

それらの活動から多くの農地が再生され、田舎には昔懐かしい棚田が蘇った。その作業に参加

した多くは一般の、企業との連携で参加してきた若人たちであり、彼らはその活動を通して食と農業の意義を見直すきっかけともなった。講師自身が農作業をしている間は、ストレスなどを感じることもなかったことから、ボランティアでいけると判断したとのことであった。

企業は日本を代表する大企業の一つであり、造られた日本酒は直ぐ完売してしまうほどの人気という。これらのことから、「農村起業家育成スクール」を開講し、現在8カ所卒業生は1000名を超

え、意欲的な取り組みを続けている。農村起業家は日本20ヶ所で営農している、中には世界的なコンクールで金賞を受賞するなど、農家として成功者も輩出している。

3. 所見

耕作放棄地を開墾して栽培した米10kgを7,000円で販売。正規の木材として出荷できない木材を、「薪割り体験できる」薪ストーブ用として販売。これは原価率7%（粗利93%）と信じられない数字。古民家をリフォームして、一泊5万円の「農家体験宿泊可能な家」として70%の稼働



（北山正樹議員）

率を上げているなど、なかなか刺激的な事例が続いた。

本町での可能性だが、先のSDGsという指摘と受け止め、周りにある資源を活かすべく、精一杯努力していくべきと感じた。

・選挙は一つの品質管理「スクリーニング」を行う作業であり、それを行わない事は品質管理がなされない事になる。

・有権者は関心が無くなったり薄くなっている。期待されるために議会が変わらなくてはならない。

・無投票にならないように定数減等に対応してきたがそれも無理（行き詰まる）↓報酬を上げるべき。しかし、住民所得との格差があつては住民からは受け入れられない。

・年4回の定例方式は昔の「水田・農耕」対応の定例会で、今では農業関係者以外が多くなつてきており対応不可能となつている。↓通年制に変更してもよい（毎週1回程度・夜議会）

○議会の役割は何か

1. 議会は最高決定機関

・執行部が頼んだので通したのではない。議会は最後の決定機関であり、後がない

・選挙は一つの品質管理「スクリーニング」を行う作業であり、それを行わない事は品質管理がなされない事になる。

・有権者は関心が無くなったり薄くなっている。期待されるために議会が変わらなくてはならない。

2. 議会が長は「車の両輪」

・車輪の間には距離がある。一輪車ではだめです。自転車の両輪も「前と後ろ」となり追従する形になるのでだめです。

・与党であればなおさら客観的にチェックし、提案されたものをより一層、高いものとする必要がある。

3. 真に「住民に開かれた議会」とは

・日本は住民に背を向けた議会である。傍聴席で聞くだけで発言は出来ないもので住民軽視となつている。アメリカは事前登録を行い、議会の中に入って発言させる。

人に聞くことが大事
↓議会改革 「パブリック・リレーションズ」

○地域の重大事案と議会

1. 首長1人の決定は危うい

・人類の経験値である。沖繩の辺野古の問題も同じ、又、横浜市のカジノIR誘致も同じ

2. 地方自治法96条2項を活用して議会で責任を持つ事が大事

・普通地方公共団体は、条例で普通地方公共団体に関する事件（法定受託事務に係るものを除く。）につき議会の議決すべきものを定めることができる。

○財政の持続可能性と議会

1. 予算の吟味・点検

・議会に提案する前に報道発表を行う。後は議会がチェックすればよい
・地方交付税を当てにしていると、国が破たんする可能性がある。信じない方がよい

2. 税率の変更も

・町の予算が足りない場合、固定資産税の変更も考えられる

○教育と議会

1. 教育委員会の現状

・学校の給食費の回収は現在どのように行っているのか？先生が袋での回収している所はNG

2. 教育委員会（教育長・教育委員）の選任

・昭和20年頃は選挙をおこなっていたが現在は承認の形となつている。

・いじめの問題を解決するためにも議会がしっかり自覚して吟味して選ぶ必要がある。

・当日の審議決定でなく、教育長・教育委員の意見や考え方を事前に議会で聞いて判断。

○地方創生と議会

1. 議会は「総合戦略」を点検したか

・現在は決定事項でなく、首長・行政の一方的な考え方であり、96条2項で議会の決定事項として、必ず通す必要がある。

町村議会議員

日付 令和元年10月1日

場所 嘉島町民会館

講師 早稲田大学公共経営大学院教授

元総務大臣・鳥取県知事 片山善博氏

演題 「これからの議会のあり方・議員への期待」

○統一地方選挙から見えてくる地方議会の課題

1. 無投票と「なり手不足」、低い投票率

・選挙は民主主義を支える大事な物である。統

一選挙で無投票が増えてきている。

・選挙は立候補する側から言うと1期の評価に対する期待感があり、当選すれば自信がつく

○議会の役割は何か

1. 議会は最高決定機関

・執行部が頼んだので通したのではない。議会は最後の決定機関であり、後がない

・選挙は一つの品質管理「スクリーニング」を行う作業であり、それを行わない事は品質管理がなされない事になる。

・有権者は関心が無くなったり薄くなっている。期待されるために議会が変わらなくてはならない。

2. 議会が長は「車の両輪」

・車輪の間には距離がある。一輪車ではだめです。自転車の両輪も「前と後ろ」となり追従する形になるのでだめです。

・与党であればなおさら客観的にチェックし、提案されたものをより一層、高いものとする必要がある。

3. 真に「住民に開かれた議会」とは

・日本は住民に背を向けた議会である。傍聴席で聞くだけで発言は出来ないもので住民軽視となつている。アメリカは事前登録を行い、議会の中に入って発言させる。

人に聞くことが大事
↓議会改革 「パブリック・リレーションズ」

○地域の重大事案と議会

1. 首長1人の決定は危うい

・人類の経験値である。沖繩の辺野古の問題も同じ、又、横浜市のカジノIR誘致も同じ

2. 地方自治法96条2項を活用して議会で責任を持つ事が大事

・普通地方公共団体は、条例で普通地方公共団体に関する事件（法定受託事務に係るものを除く。）につき議会の議決すべきものを定めることができる。

○財政の持続可能性と議会

1. 予算の吟味・点検

・議会に提案する前に報道発表を行う。後は議会がチェックすればよい
・地方交付税を当てにしていると、国が破たんする可能性がある。信じない方がよい

2. 税率の変更も

・町の予算が足りない場合、固定資産税の変更も考えられる

○教育と議会

1. 教育委員会の現状

・学校の給食費の回収は現在どのように行っているのか？先生が袋での回収している所はNG

2. 教育委員会（教育長・教育委員）の選任

・昭和20年頃は選挙をおこなっていたが現在は承認の形となつている。

・いじめの問題を解決するためにも議会がしっかり自覚して吟味して選ぶ必要がある。

・当日の審議決定でなく、教育長・教育委員の意見や考え方を事前に議会で聞いて判断。

○地方創生と議会

1. 議会は「総合戦略」を点検したか

・現在は決定事項でなく、首長・行政の一方的な考え方であり、96条2項で議会の決定事項として、必ず通す必要がある。

2. ピント外れの地方改革が地域を疲弊させる

・図書館の指定管理は東京の業者にしてはNG（地元の書店からの購入が無くなり書店を潰す）



講師：片山善博氏

菊池環境保全組合

7月9日午後、菊池環境保全組合で施設の視察が実施された。令和元年度に交替した議員（4人）が対象で、菊陽町議会からは坂本秀則・甲斐榮治の二人の議員が参加した。議員らは、組合職員の家内のもと、環境美化センター、杉水埋立処分場建設中の新環境工場を視察した。

新環境工場等の建設現場（合志市）では、ゴミ処理施設、最終処分場埋立地、浸出水処理施設等の建設工事が着々と進めら



最終処分場埋立地工事現場風景

れていた。
令和4年4月には全ての施設が稼働する予定。

（甲斐榮治議員）

新工場建設現場を視察

○「自治体戦略2040構想」とは

1. そのねらいは何か

・県域単位で中心地に集約する方向で、地域住民の声が届きにくくなる事も考えられるため、やらない方が良い。

（西本友春議員）



総務常任委員会行政視察（閉会中審査）

【乗合タクシー】

【日付】令和元年10月2日

【長洲町】長洲町庁舎

1. 導入経緯

- ①本数が少ないから乗らない・乗らないから本数が増やせない。
- ②バスは買い物や病院等日常行く所に停まらない。
- ③交通空白地域の解消のため。

2. 利用状況

- ①利用者の8割が70才以上利用者の8割が女性
- ②路線バス廃止時の利用者年間8千人が、きんぎょタクシー導入後、現在年間2万5百人となった
- ③一日平均87人が利用
- ④一台で最大5人利用
- ⑤登録者数3,466人



オペレーションルーム

3. 利用者の声

- ①一人での外出が増えた
- ②車内での仲良しが増えた
- ③家の近くの乗降は嬉しい
- ④気持ち良い受付も嬉しい

4. 住民の意見を大事に

- ①100mも歩ききらない
- ②利用するのは俺たちばい
- ③住民説明会は校区4ヶ所を4回と37ヶ所の行政区でも実施
- ④検討委員会に地域住民も参加。

5. 所感

- ①システム検討に住民の声を大切にし、活かした運用システムとなっている。
- ②より多くの人が利用できるシステムとなっている。
- ③運用後も利用者の声を聞き見直しを随時行っている事は見習うべき。

【和木町】和木町庁舎

1. 導入経緯

- ①町内の各校区から中央校区への移動路線が無い。
- ②交通空白地域の解消のため。
- ③地域内のお出かけ先拠点の整備と交通手段確保。

2. 利用状況

- ①路線バスの廃止は無い。
- ②年間2,737人が利用。
- ③一台で一人の利用。
- ④登録者数555人。

3. 住民の意見を大事に

- ①住民アンケート3,882世帯4割の回答があった。
- ②グループインタビュー実施で282人の交通弱者を把握。
- ③交通弱者の戸別訪問調査を実施。



オペレーションルーム

4. 所感

- ①システム検討に住民の声を大切にし、活かした運用システムとなっている。
- ②路線バスへの乗り継ぎ等のため、到着時間を守るシステムとなっている。
- ③両町を視察して感じたのは、町の実情と特徴があり違ったシステムとなっているが、予約をオペレータ受付とするのは町民との距離を近くすると共に、問題発見に必要と強く感じました。

西本友春委員長



議場のシステムが新しくなりました。

設備費 **1,938万6,000円**
(消費税込み)



- ・議長席の後ろに高性能カメラが2台設置され、議場全体が綺麗に映し出されます。
- ・スピーカーを増やし、傍聴席にも傍聴者専用スピーカーが2台設置されたので、聞き取りやすくなります。
- ・高性能カメラを導入し、映像が綺麗になります。



- ・画面に発言中の議員、答弁者名が表示されるようになります。
- ・マイクユニットに賛否ボタンが付き、ディスプレイで賛否数の確認ができるようになります。(賛否ボタンの慣れ等が必要なため、導入に関しては検討中です)

(福島知雄議員)

表紙の紹介

9月に行われた西小学校の運動会の一コマです。



- ・大型ディスプレイを設置し、出席議員の確認、及び一般質問時間の視認性が向上します。

編集後記

矢野厚子

広報委員になって、二回目で、まだ伝え方に工夫が必要だと反省しながら、憲法改正論議と、高齢者の安全運転と移動手段の確保を求める発議と討論についてを、音声を聴きながらまとめさせていただきました。各議員の思いのこもった発言をゆがめることなく、短くするのは、違う意味を伝えてしまうのではと、不安な思いはありましたが、発言された各議員が地域の皆様に行間を埋める対話をしていただければと思います。今後も先輩に学びながら努力を重ねていきますので、よろしく申し上げます。



みんなの議会 傍聴は、お気軽に

議会からのお願

議会だより取材のため、腕章を着用した議会議員が写真撮影に伺うことがありますが、ご理解とご協力をお願い致します。

発行責任者

議長 上田 茂政
編集者 委員 長 北山 正樹
副委員長 西本 友春
委員 長 福島 知雄
委員 佐々木理美子
委員 大久保 輝
委員 矢野 厚子

この議会だよりは再生紙を使っています。